



学校だより

6月号

令和2年6月1日

学校再開にあたって

校長 青木 和裕

6月1日。子どもたちの、久しぶりの登校です。やはり、子どもたちにランドセルはよく似合います。長かった臨時休業期間もようやく終わり、令和2年度の再スタートが切れたこと、子どもたちの笑顔を見ることができたことが、素直にうれしいです。

この日を迎えるにあたり、保護者の皆様には、お子様の健康管理ならびに感染症予防に意を尽くしていただき、ありがとうございました。また、校外委員さんを中心に、登下校時の見守りに率先して携わっていただいたことに、感謝申し上げます。

本校では、最初の2週間は、地区ごとの「分散登校」で、午前・午後の2部制です。通常の授業時間は、1単位時間が45分ですが、35分と短く設定しました。まずは、学校生活のリズムを取り戻すこと、少人数での集団生活に慣れることを主眼にしています。各学年の実態に応じて、手洗いやうがい、水分補給、トイレ休憩の時間を柔軟にとります。感染症対策として、換気をしながらの授業、座席の間隔を空けること、手洗いとマスク着用の徹底、身体的距離の確保、校内の消毒等を行います。

学校生活のリズムを取り戻さなければならないのは、我々教職員も同じです。子どもに会えた喜びのあまり、また、学習の遅れを取り戻そうと、全速力で飛ばしてしまがちです。ですので、教職員には、私から、「最初の2週間は、ゆったりとした気持ちで、ゆっくりと進めていきましょう。」という話をしました。横浜市教育委員会から示された「学校再開スタートプログラム」を活用して、子どもたちの心のケア、クラスの友達と一体感を感じる体験を行い、温かい学級をつくっていきます。学習においては、前学年の3月に行う予定だった内容を指導するとともに、この休業期間中に出した課題に関わる今年度の学習内容についても、今一度指導を行います。

地域の皆様からは、学校再開にあたり、「先生方も、毎日大変ですね。がんばってください。」という温かい励ましのお言葉をいただきました。保護者の皆様からは、「学習予定を書き込める紙のおかげで、子どもが自分で考えて一日を過ごすことができました。」「HPの担任の先生からのメッセージがうれしかったです。親子で読みました。」といった声をいただき、とても励みになりました。この休みの間、人にかける言葉について、深く考えさせられるニュースをいくつか目にしただけに、あらためて温かい言葉、優しい言葉が身に沁みました。これからも、温かい言葉、優しい言葉があふれる二つ橋小学校をつくっていきます。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き学校教育活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。